［ 人間ドック・健診部 ］

人間ドック・健診部

医長　庄司　達弘

1 人員構成（2025年４月１日～2026年３月31日）

●常勤医

・医　長　庄司　達弘（2011年４月～）
　日本内科学会認定総合内科専門医
　日本消化器内視鏡学会指導医
　日本消化器病学会認定消化器病専門医

・医　員　永川　明香（2022年10月～）
　日本内科学会認定総合内科専門医
　日本臨床検査医学会 臨床検査専門医

●非常勤医　なし

2 診療状況

常勤医2名体制で診察を行っている。この10年のスパンで振り返ると、受診者数は増加傾向であるが、本年度は昨年度と比べて受診者数がやや減少した。これは健診業務に従事する事務職員の複数退職に伴う受け入れ制限が不可避であったことに関連している。

業務内容としては、人間ドックは一般コースをはじめ、受診者の希望に応じて各種オプションを付加した様々なコースを用意している。結果説明外来では、受診者が十分に理解するまで丁寧な説明を行っている。健診については、一般健診・企業健診・横浜市特定健診などを行っており、他にも要望に応じた内容を提供できるようにしている。管理栄養士による特定保健指導も懇切丁寧を心がけている。

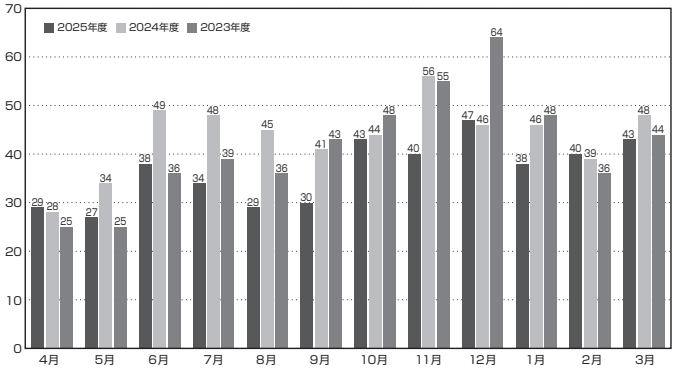
3 特に力を入れたこと

予防医学の重要な点は検査結果を通知することだけではなく、それを受診者の健康維持にどのように結び付けるか、「精査の必要性」や「一次予防の重要性」をどのように伝えるかである。受診者への報告書作成や結果説明の際に、個々のライフスタイルの違いを考慮することを重視しており、受診者の人生に寄り添った説明、指導が重要と考えている。一人一人に十分な時間をかけなければ、受診者にとって満足感、納得感は得られないであろう。「要精査」結果が出た受診者に対しては、各専門医外来への紹介も円滑にいくよう努力している。

4 今後の課題

健診・ドックの最終的なクオリティは、医師の裁量はもちろんのこと、事務職員の諸作業、もてなし、コミュニケーションによるところが非常に大きい。この数年、事務職員の退職が相次ぎ、受け入れ人数の減少につながった。一人でも多くの事務職員が健診部門で勤務し、ハイクオリティな健診・ドックを維持できるよう切に願っている。我々としては多くの受診者の様々な要望にお応えできるような体制づくりを目指す所存である。

●人間ドック実績

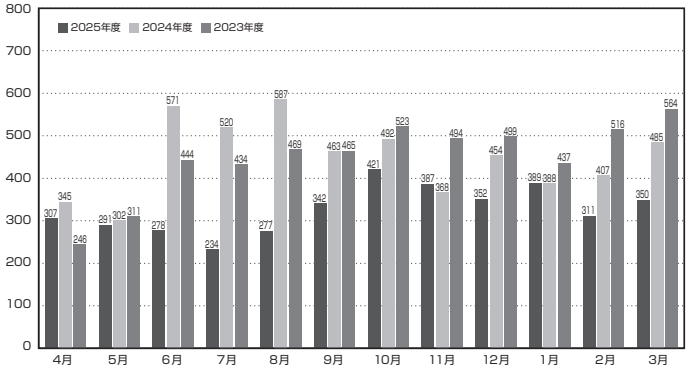


単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2025年度	29	27	38	34	29	30
2024年度	28	34	49	48	45	41
2023年度	25	25	36	39	36	43

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2025年度	43	40	47	38	40	43	438
2024年度	44	56	46	46	39	48	524
2023年度	48	55	64	48	36	44	499

●健康診断実績



単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2025年度	307	291	278	234	277	342
2024年度	345	302	571	520	587	463
2023年度	246	311	444	434	469	465

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2025年度	421	387	352	389	311	350	3,939
2024年度	492	368	454	388	407	485	5,382
2023年度	523	494	499	437	516	564	5,402